

第7回鋼構造セミナー「鉄骨製作における諸問題」

主催：日本建築学会中国支部,日本鉄鋼連盟

共催：日本建築構造技術者協会中国支部,協同組合広島県鉄構工業会

会場：広島工業大学広島校舎（広島市中区中島町 5-7）

内容：1. レーザー孔あけ加工による高力ボルト接合について

（田中利幸・岡山理科大学教授）

2. 加工しやすい鉄骨納まり提案について

（鉄構工業会技術委員および JSCA 技術委員）

日時：9月21日（土）14:00~17:00

定員：80名,参加費：1,000円（学生無料）

問合せ・申込先：広島工業大学 清水 齊 h.shimizu.tn@it-hiroshima.ac.jp

概要

高力ボルトの摩擦接合のボルト孔の加工に関しては,建築工事標準仕様書 JASS6 においてドリル加工と規定されている.本セミナーでは,最近精度的に実用の域に達してきているとされているレーザー加工の孔あけ加工と従来のドリル加工による場合のすべり係数に関する製作部会で昨年実施した実験結果,および今年度の接合部の最大耐力に関する実験概要について説明する.

また,セミナー後半では,日常業務の中で対応している鉄骨加工内容について,鋼構造建物製作技術者の立場から加工方法の提案を行い,構造設計者から,その提案について採択の可能性を説明する.

最後に,質疑応答を行う予定である.

本セミナーは,鋼構造設計における疑問点・問題点を参加者全員で解決するように企画されたものである.是非とも,構造設計者,鋼構造製作技術者,および大学生・院生の積極的な参加を期待しています.